

強豪校と言われている高校でバレーがしたい。その一心で進徳女子高等学校へ入学しました。この時はまだ大学の事など一切考えていませんでした。

私たちは、1年生の頃から世界が抱えるあらゆる問題について学んできました。児童労働や人種差別、各地で起こる戦争についても学び、考えを深めてきました。これらを学んでいくうちに疑問が沢山生まれます。その疑問の中で「私には何が出来るのだろう。」「わたしにしかできないことはなんだろう。」という疑問が私の大学選択のきっかけとなりました。私にしかできないこと。それは、私しか経験してないことです。

私は中学2年生の時に西日本豪雨災害にあいました。この経験から地域の人が安心して暮らせるまちづくりがしたいと思うようになりました。そして、世界の問題を知った私は、地域の現状や課題を浮き彫りにし、改善・呼びかけなど、高校での学びの結論として出した、「知ること・理解すること・そしてそれを広めること」を公務員になり、社会に発信したいと考えるようになりました。そこで、カリキュラムや環境が整っている安田女子大学を志望しました。

学びを深めるにつれて生まれる疑問。必ずしもひとつでは無い自分なりの答えは、時に自分の人生を左右することもあります。大切なのは、色々な視点から物事を見ることだと思います。そしてそれを発信することです。私らしい答えを見つけるために。そして、自立した女性になるために大学では私らしく学びを続けたいと思います。